

農林水産業費	農道、水路、ため池補修整備費	1382万円
	松浦地区水路改修工事費	684万円
	農業集落排水事業	特別会計繰出金
	特別会計繰出金	5584万円
土木費	道路維持補修、新設改良費	7325万円
	内原、大谷線道路	整備受託事業費
	整備受託事業費	1億6110万円
	公共下水道事業特別会計繰出金	2億1562万円
	防犯灯、カーブミラー等	交通安全施設整備費
	交通安全施設整備費	786万円
教育費	小・中学校施設整備工事	635万円
	校区コミュニティ推進補助金	570万円
その他	粕屋南部消防組合負担金	2億1727万円
	町債元金償還金	7億
	町債元金償還金	497万円
	町債利子償還金	1億4577万円

健全化判断比率および資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成20年度決算による「健全化判断比率」、「資金不足比率」を公表します。いずれの指標も健全化基準を下まわっているため、健全であるといえます。

1. 平成20年度 健全化判断比率 (単位：%)

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
須恵町の算定値	—	—	14.4	87.3
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	
(参考：黒字比率△)	(△2.00)	(△8.32)		

①実質赤字比率

町の財政規模に対する一般会計など（一般会計および奨学資金特別会計）の実質赤字の比率。平成20年度決算で一般会計などは黒字であり、実質赤字額がないため、実質赤字比率は算定されませんので「-」で表示しています。（参考として黒字額の比率を△で記載しています。）

②連結実質赤字比率

町の財政規模に対する全ての会計の実質赤字の比率。平成20年度決算で町の全ての会計の実質収支額を合算すると黒字になっており、連結実質赤字比率は算定されませんので「-」で表示しています。（参考として黒字額の比率を△で記載しています。）

③実質公債費比率

町の財政規模に対する公債費（町債の元利償還金）

や公債費に準じた経費の比率の平成18年度から20年度の3か年の平均。早期健全化基準を下まわっています。

④将来負担比率

町債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の財政規模に対する比率です。平成20年度末時点での将来負担比率は、早期健全化基準を下まわっています。

※①～④の比率のいずれかが「早期健全化基準」以上の場合は、自主的な改善努力による早期の「財政健全化計画」を策定しなければいけません。

※①～③の比率のいずれかが「財政再生基準」以上の場合は、「財政再生計画」を策定し国の関与を受けながら財政の再生を図ることになります。

2. 平成20年度 公営企業の資金不足比率 (単位：%)

	水道事業会計	公共下水道事業特別会計	農業集落排水事業特別会計
⑤資金不足比率	—	—	—
経営健全化基準		20.0	
(参考：資金剰余比率△)	(△59.6)	(△2.9)	(△25.5)

⑤資金不足比率

公営企業の事業の規模に対する資金の不足額の比率で企業会計ごとに算出します。平成20年度決算では、三つの企業会計とも資金の不足額はないため資金不足比率は算定されませんので「-」で表示しています。

(参考として資金剰余額の比率を△で記載しています。)
※⑤資金不足比率が「経営健全化基準」以上の場合は、「経営健全化計画」を策定し、経営の健全化を図ることになります。

校区コミュニティ情報

「新しい連携による人づくり」「新しい集団によるまちづくり」

コミュニティの紹介

各コミュニティの紹介を、先月から3回に分けて行なっています。第2回目は、第一小学校区のいきいきコミュニティです。今回は、いきいきコミュニティ推進会議会長にインタビューしました。

Q いきいきコミュニティの紹介をしてください。

平成13年度に、須恵第二小学校区「いきいきコミュニティ推進会議」が設立されました。

初代会長は、私と同じ城山区内に住む小山田英生氏で、平成13年度から3年間、同コミュニティの構築にご尽力いただいて、その礎を築かれました。小山田氏の勇退後は、甲植木区の園田建士氏が後任として会長を引き継がれました。

コミュニティ内には、4つの部会（べったんフェア部会・広報部会・通年事業部会・地域安全対策部会）を設けています。これは、

「いきいきコミュニティ」の目的である、地域住民の「出会い」「ふれあい」「学び合い」を通して、住みよい地域づくりと子どもたちの健全育成の推進を図るために作りだされたものです。そしてもう一つ、コミュニ

ティ設立当初から尽力いただいている、吉松清事務局長、森悠子コミュニティ主任、米倉清美コミュニティ主任のみなさんが、いきいきコミュニティの伝承と継続を見守ってくれています。



会長プロフィール

いきいきコミュニティ推進会議会長
井上 仁 氏 (63歳) 城山区在住
おとめ座 B型
趣味 ゴルフ少々、旅行
平成19年度 5期20年間務めた町議会議員を退任後、園田建士氏（甲植木区在住）の後任として、平成21年度から同会議の会長となる。

Q 主な活動内容を教えてください。



コンサート風景

「いきいきコミュニティ」の大きなイベントに「べったんフェア」があります。このまつりは、15年前の平成6年にスタートしたそうです。第1回目から6回目まではPTAが主催し、いきいきコミュニティが設立されて、コミュニティ主催に移行されたということです。
・広報活動（コミュニティ通信を年2回発行）
・PTAと共催による講演会を開催
・料理教室や軽スポーツ大会、コンサート、子どもを対象にした手づくり教室の開催
・地域防犯活動と子どもの安全対策活動、PTA地区懇談会への参加 など

Q これからの活動方針と今後の目標は何ですか。

いきいきコミュニティも振り返ると来年度で設立10周年を迎えます。これまで多くの人との出会いがあり、同時に、数多くの議論もありました。人それぞれに顔形が異なるように、価値観も様々です。地域住民の中には、PTAに任せておけばいいとか、暇な人がやればいいと言う人や考える人がいらっしやいます。

しかし、人と出会ったり映画を観たり、本を読んだりして人間は変革していくと考えます。まだまだ、地域の役員や住民の人にまでコミュニティの目的が浸透していないのが現状です。おこがましいとは思いますが、今後、地域活性化の機動力の源となる人の育成に力を注がなければいけないと思います。

ひとつの節目であり、設立10年目に向かって努力したいと思っております。今後とも地域のみなさんご理解とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。